

令和7年3月新見市議会定例会
日程第4（市長の行政報告について）

市 長 行 政 報 告

本日、3月市議会定例会を招集いたしましたところ、皆様方にはご多用の中ご出席賜りまして、誠にありがとうございます。

それでは、前回市議会定例会以降の取組などについて、報告をさせていただきます。

まず、「産業・経済」についてであります。

農業振興につきましては、令和4年度から整備を進めておりました豊永営農団地第2期工事が昨年12月に竣工し、新規就農者2名がぶどう栽培を開始する予定であります。

今後、スムーズな営農開始に向け、栽培に必要な棚施設の整備や苗木の購入などについて支援を行うとともに、引き続きブランド力の強化や生産振興に取り組んでまいります。

次に、国の事業であります「多面的機能支払交付金事業」及び「中山間地域等直接支払交付金事業」につきましては、要件などが変更され、来年度から新たに5年間の事業が開始されることとなっております。

事業開始に向け、現在取り組まれている活動組織を対象に、1月30日から本庁及び各支局管内の5会場で説明会を開催し、現行制度からの変更点や活動にあたっての注意点などについて周知を行ったところであります。

引き続き、活動組織の取組支援を行い、水田などが持つ多面的機能の維持・発揮のため、農用地の保全に努めてまいります。

「新見市オリジナルI C O C A」につきましては、冬季におけるエネルギーなどの物価高騰対策として、昨年12月14日から1月13日までの1か月間を対象期間に、キャッシュレス決済の25%、最大2,500ポイントを還元するキャンペーンを実施いたしました。その結果、8,396の方が参加され、約9千8百万円の電子マネーが利用されております。これに対する約1千9百万円分のポイントは、1月31日に付与しております。

引き続き、加盟店の増加を図るとともに、消費喚起による市内経済の好循環に向けて取り組んでまいります。

次に、「教育・文化・スポーツ」についてであります。

ふるさとキャリア教育につきましては、昨年12月6日、まなび広場にいみ大ホールにおいて、演劇「山田方谷物語」が開催され、市内の小学校6年生から中学校2年生までの、約730人が鑑賞いたしました。

当日は、私も鑑賞し、改めて郷土の偉人であります山田方谷先生についての理解を深めたところであります。それと同時に、児童・生徒が熱心に鑑賞する姿を見て、演劇を通じて、ふるさと新見への興味や関心が高まった様子を伺うことができました。

今後も、様々な取り組みを通じて、地域への愛着や誇りを育み、将来を担う人材の育成に取り組んでまいります。

スポーツの振興につきましては、1月26日、岡山市において、「第14回 晴れの国岡山 駅伝競走大会」が開催され、本市のチームが5年ぶりに出場することができました。

結果は、24チーム中22位でありましたが、選手の皆様は、沿道からの声援を受け、ふるさとの誇りを胸にたすきをつないでくれました。

力走されました選手の皆様、また、大会出場にご尽力いただきました新見市スポーツ協会や新見市陸上協会など、関係者の皆様方には深く敬意を表するところであります。

次に、「安全・生活基盤」についてであります。

防災対策につきましては、1月25日、新見公立大学において、市民センターや公民館の職員を含む本市職員と自主防災組織の役員など約120人が参加して、防災訓練を実施いたしました。訓練では、避難所の開設や運営、孤立を想定したドローンによる物資輸送や衛星通信による情報伝達訓練を行い、関係機関との連携体制の強化や防災意識の高揚を図りました。

次に、「都市基盤・交通」についてであります。

金谷土地区画整理事業につきましては、その施工区域及び区域内を南北に縦断する都市計画道路金谷新線について、1月6日に都市計画決定を行いました。引き続き本事業を積極的に推進し、魅力的な新市街地形成による本市への定住促進を図るとともに、防災力強化のための道路ネットワークの整備に向け取り組んでまいります。

芸備線再構築協議会につきましては、第2回再構築協議会において決定されました、沿線住民や来訪者に対するアンケート調査、関係者に対するヒアリングなどの調査事業を実施しているところであり、今後、その調査結果をもとに実証事業を検討することとしております。

引き続き、持続可能な地域公共交通の構築に努めてまいります。

次に、「環境」についてであります。

ごみ減量化に向けた取組につきましては、4月から開始するプラスチックの分別収集を円滑に実施するため、昨年12月から市内各地で分別収集の説明会を開催しております。今後も引き続き、市報や行政放送などによる周知をはじめ、希望する地域には出前講座での説明を行いながら、多くの市民の皆様にご協力いただくことで、リサイクル率の向上を図り、ゼロカーボンシティの実現につなげてまいります。

次に、「広聴・広報」についてであります。

市制施行20周年記念事業につきましては、記念ロゴマーク及びキャッチコピーを市内高校生から募集して、それぞれ1点を決定し、そのロゴマークなどを使用した懸垂幕を、1月29日から市役所本庁舎へ設置したところであります。引き続き、積極的な広報を通じて機運の醸成を図ってまいります。

最後に、国県との連携強化につきましては、私自ら1月23日に総務省及び岡山県選出の衆参国會議員を訪問し、出生者数の減少など本市の厳しい実情や、それに対して公立大学と連携し、地域活性化のための様々な取り組みを行っていることを説明しながら特別交付税の要望を行ってまいりました。

今後も機会を捉え、国県に出向いて地域の実情を伝えるとともに、技術的、財政的支援をいただけるよう努めてまいります。

以上、市政運営の状況につきまして主なものをご報告いたしました。引き続き市政の推進にご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。